

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果と概要

※詳細は、市ホームページをご覧ください。☎本庁舎学校教育課 内 2363

## 調査の概要

4月18日、小学6年生と中学3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」を行いました。この調査は「教科に関する調査」と「質問紙調査」があり、学校での指導方法や家庭での学習・生活状況などを改善するために実施しています。

## 教科に関する調査結果

〈平均正答率〉

学年	市	正答率(%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
小学6年生	白河市	77.4	58.5	84.3	48.4
	福島県	76.1	57.0	80.5	45.1
	全国	74.8	57.5	78.6	45.9
	全国平均との差	2.6	1.0	5.7	2.5

## 公表の目的

調査結果から捉えられた実態と、家庭学習の取組や読書の状況などの家庭生活における課題を知ってもらい、学校が保護者や地域と一体になって、学力向上や学習環境の改善に向けて取り組むことを目的としています。

学年	市	正答率(%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
中学3年生	白河市	78.4	75.1	70.2	50.7
	福島県	77.6	71.9	62.8	46.8
	全国	77.4	72.2	64.6	48.1
	全国平均との差	1.0	2.9	5.6	2.6

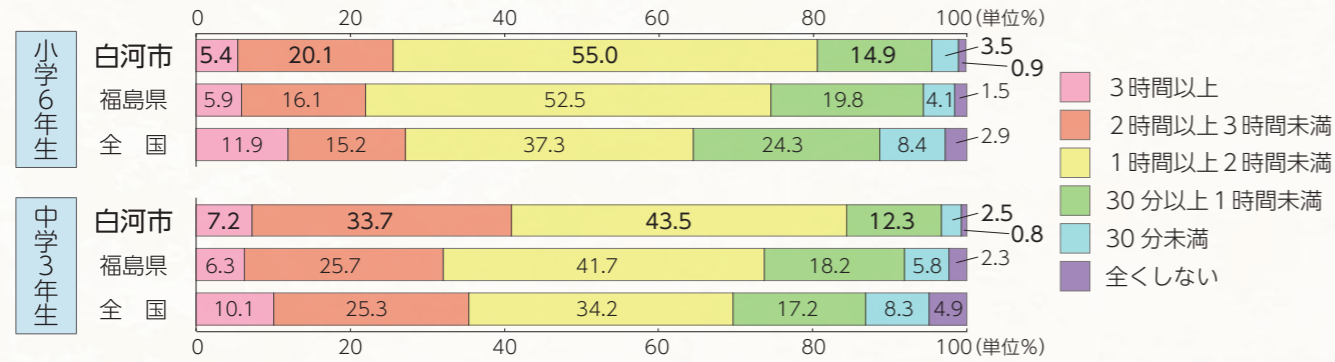
## 〈考察(今後、特に力を入れていくこと)〉

- ▷国語 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる問題が全国よりも良くできていました。授業の中で、比較や関連づけを意識して読ませたり、自分の意見を述べる際は、常に根拠を明確にするように指導したりしている成果と考えられます。
- ▷算数 平均値を求める際、おおよその平均値を見積もるなど工夫して考えれば、能率的に求めることができます。授業の中で、類似の問題を用い、グラフと式、言葉などを関連づけながら、平均の求め方を説明する活動を取り入れていきます。

- ▷国語 アンケートをとる際に、誰にどのような質問をすれば必要な情報が集められるかを記述式で解答する問題で、全国や県を大きく上回りました。アンケートやインタビューを行う際には、集めた情報を整理することで、どのようなことが分かるかという見通しを持つことが大切ですので、今後も、国語科だけでなく総合的な学習の時間などでも、このような思考・判断・表現する言語活動の視点をもち、体験させていきます。
- ▷数学 資料を整理して情報を読み取ることができています。さらに、目的に応じて資料を収集し、表やグラフに整理して資料の傾向を読み取り、説明する活動を多く取り入れていきます。

## 質問紙調査結果(公表の中の一部)

〈質問〉 普段(月～金)、授業以外にどのくらいの時間、学習をしていますか。



〈考察〉 家庭での学習時間が、小学校では「1時間以上」の割合が昨年度より大幅に増え8割を超えました。中学校では「2時間以上」の割合が4割を超えました。家庭学習の定着を図っている成果だと考えられます。今後も、学校から出された宿題をこなすだけでなく、児童生徒が自分で立てた学習計画を見直しながら、得意なところを伸ばしたり、不得意なところの補充を行ったりできる力を育て、学習内容の充実を図っていきます。

## 自治功労者



鈴木 和美さん  
(49歳 米山越)  
消防団活動に尽力  
されました

## 自治功労者



八木沼 利光さん  
(50歳 東前町)  
消防団活動に尽力  
されました

## 自治功労者



佐久間 進さん  
(67歳 東下野出島)  
消防団活動に尽力  
されました

## 善行者



円谷 秀海さん  
(64歳 北中川原)  
交通安全の確保に  
尽力されました

## 社会福祉事業功労者



川崎 真策さん  
(71歳 道場町)  
保護司として尽力  
されました

## 社会福祉事業功労者



藤田 ミイさん  
(76歳 関辺)  
社会福祉の向上に  
尽力されました



## 善行者

白河市立白河第二小学校  
読み聞かせボランティアの皆さん  
情操教育に尽力されました

# 永年の功績をたたえて

# 市政功労者・善行者を表彰

永年にわたって市勢の伸展に尽くされた方の功績をたたえて、平成29年度市政功労者・善行者の表彰式が11月3日に挙行されます。今回表彰される方は、自治功労者3人、社会福祉事業功労者2人、善行者1人・1団体の方々です。